

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	001 秘書業務							
戦略プラン					担当部課 係名	市長公室秘書課 秘書係・渉外係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-020103-11 秘書業務に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
要求区分		事業期間	令和元年度～令和元年度					
個別計画								
根拠法令						事業体制	職員のみ	
					市長公約			
概要								
事業の目的					事業の概要			
特別職（市長及び副市長）が、公務を円滑かつ効率的に遂行する。					<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議や催事等出席に係る日程を調整する。</li> <li>・事前調査票の確認を行う。</li> <li>・全日程について関連する資料を特別職へ手渡す。</li> <li>・挨拶文等の作成を担当課に依頼し、文案調整を行う。</li> <li>・飛び込み案件報告書の管理を行う。</li> <li>・特別職が参加する公務に随行する。</li> <li>・必要に応じて市長ブログを作成、掲載する。</li> <li>・賀詞交歓会を開催する。</li> </ul>			
評価								
事業計画					活動実績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調査票を元に特別職の日程調整を行い、スケジュールを管理する。</li> <li>・担当課提出の挨拶文、資料を確認し、特別職へ手渡す。</li> <li>・担当課からの飛び込み案件報告書を特別職への回覧し、担当課との調整等を行う。</li> <li>・特別職の公務に随行し、必要に応じて市長ブログを作成、掲載する。</li> <li>・1月上旬 賀詞交歓会を市内で開催する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・日程は、年間を通じて滞りなくスケジュール管理を行った 事前調査票 約1,800件、飛び込み案件報告書 約1,400件</li> <li>・スケジュールに連動し、必要に応じて市長ブログを掲載した。 約270件</li> <li>・挨拶文、寄稿文は、適宜修正し、特別職に手渡した。 挨拶文 約230件 寄稿文 約30件</li> <li>・随行は、年間を通じて課内職員が交替で行った。</li> <li>・賀詞交歓会を令和2年1月10日に、ホテルグランド東雲にて実施した。 当日参加人数 491名</li> </ul>			
成果					課題			
特別職の公務については、効率的に遂行してもらってきた。					各課からの決裁等の至急案件や飛び込み案件が多く、特別職の執務時間（決裁など）や休憩時間の確保、スケジュールの過密化が常態化している。			
改善目標（R02年度にむけて）								
説明資料等の事前提出の徹底や、緊急性・重要度の明確化により特別職の公務の効率性を高める。								
指標の推移								
1	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	7,540	6,873	9,277	0	
事業費計		(千円)	7,540	6,873	9,277	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	3.00	3.50			
		時間外勤務 (時間)	1,802.00	1,365.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	25,644	27,101			
事業コスト		(千円)	33,184	33,974			

R02年度当初積算根拠  
褒賞用報償金 102千円, 普通旅費 240千円, 特別旅費 1,000千円, 交際費 1,000千円, 消耗品費 620千円, 食糧費 129千円, 印刷製本費 370千円, 修繕料 177千円, 通信運搬費 1,320千円, クリーニング代 25千円, 筆耕翻訳料 10千円, 保険料 54千円, 駐車場使用料 48千円, 有料道路通行料 10千円, 会場使用料 50千円, 施設入場料 39千円, 図書備品 30千円, 庁用備品 50千円, 全国市長会負担金 915千円, 茨城県市長会負担金 2,275千円, 全国市長会関東支部負担金 40千円, 県南西政経懇話会負担金 132千円, ミネルバ21(市長連絡協議会)負担金 50千円, 随時負担金 100千円, 内外情勢調査会負担金 198千円, 県南地方総合振興協議会負担金 30千円, 茨城県副市長会負担金 45千円, 教育再生首長会議負担金 20千円, 全国青年市長会負担金 30千円, 脱原発をめざす首長会議負担金 30千円, 新世代リーダーサミット負担金 138千円 合計9,277千円

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	002 市長車等特別職運転・管理業務							
戦略プラン					担当部課 係名	市長公室秘書課 秘書係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-020103-11 秘書業務に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間	令和元年度～令和元年度			<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
						<input type="checkbox"/> 評価・検証		
根拠法令					事業体制	職員のみ		
					市長公約			
概要								
事業の目的					事業の概要			
特別職（市長及び副市長）のスケジュールの履行と、安全な移動のため。					・市長車及び副市長車の運転・管理業務を行う。 運転は基本的に、事務員1名と臨時職員1名で行う。			
評価								
事業計画					活動実績			
・市庁舎への送迎 ・会議及びイベント会場等への送迎					・市庁舎への送迎 ・会議及びイベント会場等への送迎			
成果					課題			
特別職の公務スケジュール通りに、安全かつ迅速に移動することができた。					都内や市外への移動は、道路状況により到着時間の予測が困難である。			
改善目標（R02年度にむけて）								
指標の推移								
1	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	31	0	0	0
事業費計		(千円)	31	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	200.00	234.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	7,554	7,638		
事業コスト		(千円)	7,585	7,638		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	0	0	0	0	
事業費計		(千円)	0	0	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	2.00	1.50		
		時間外勤務	(時間)	110.00	217.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	14,387	10,709			
事業コスト		(千円)	14,387	10,709			

R02年度当初積算根拠							
-------------	--	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由						
--------	----	--	--	--	--	--	--

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		